

# 危機

## 「危機」の意味って・・・

新年明けましておめでとうございます！

生産、物流現場「カイゼン」研究所 中国支店 門脇 圭です。

今年は大変な一年になりそうですね。

夜明けはまだまだかもしれないですが、明けない夜は決してないので、がんばっていきましょうね。

さてさて、'09年新春第一回目の当研究会からのお話ですが・・・

「危機」って言葉最近よく聞きますよね。金融危機、雇用危機、経済危機・・・

いろんなところで使われている、この「危機」という言葉。皆さん語源って何か知ってらっしゃいますか？

実は中国語での危機という言葉は「危険」+「機会」=「危機」から来ているそうです。

たしかにそうですね・・・

ここで、「危機」=「危険」+「機会」の事例をひとつ。

2000年ごろ、世界的にIT系ベンチャーのネットバブルが崩壊しました。いわゆる、ITバブルの崩壊ってやつですよ。IT系新興企業がどんどん倒産していったときです。猫も杓子上場を目指していた時代でした。さながらゴールドラッシュ状態。創業から一度も黒字化せずに上場し、数年で倒産。倒産まで一度も黒字にならなかった、なんて会社も・・・

そんな「危機」的な時代でも、今残っている会社(楽天やソフトバンクなど)は、当時少ない資金を投じて、社内強化のために投資を行い、自社の競争力を磨いていったんですよ。IT不況を乗り越えた後の好況時に圧倒的な競争力を身に付け、すばらしい新興企業になったわけです。

経済の原理原則から考えますと、緩やかな景気減退の後には緩やかな景気回復を、急激な景気後退の後には、急激な回復をするといわれています。

今回の100年に一度の大不況といわれているこの状態の後には、急激な回復(いわゆるV字回復)をするのではないかと予想しています。

ただし、本当に恐ろしいのは、回復後にあるのではないのでしょうか？

「勝ち組」「負け組」という言葉が使われ始めたのが2000年ごろ、ちょうどITバブルがはじけた頃。回復時に使われた言葉だったと記憶しています。V時回復後に待っているのは、更なる2極化です。これは、景気低迷から脱出する際に必ず起こっていることです。

日本、中国のみならず、どの世界でも共通して発生しています。急降下のあとの急上昇では、相当の脱落が起こることが予想されますね。圧倒的なシェアを持つ会社と、ジリ貧状態な会社への極端な2極化が・・・

一人勝ち対その他大勢の図式ですかね・・・どの業界でもそれが進むのではないのでしょうか？恐ろしい事ですが・・・

では、どうしたらいいのか？この低迷期にこそ、小さな一歩を、ひとつの業務カイゼン、生産、物流の現場へ創意工夫をおこなうべきだとおもいますが、どうでしょうか？

とある会社さんでは8時始業だったのですが、今までどの従業員も8時ちょうどにタイムカードを押して、18時の終業前にはタイムカードの前で行列をしていたそうです。それを、8時から機械を動かし、18時まで生産をさせることを徹底したそうです。それで生産効率が6%上がったといわれていました。たったこれだけのことなんですよ。6%ものコストダウンって大変なことですよ？

ほんの一例ですが・・・ほんの少しの工夫、ほんの少しの投資が将来に繋がっていくとはおもいませんか？現場カイゼン、ご相談にのりますよ！！

それでは、ご連絡お待ちします。

**Advanced Auto Identification Solutions Co., Ltd.**

帝訊信息技术有限公司 総経理 門脇 圭

深圳市福田区振中路由中航路交匯處

新洲国利大厦1708-1709

問い合わせ先: 400-670-4649 (担当: 門脇)